

天皇杯・皇后杯広島県予選結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

7/1～2に広島県猫田記念体育館において、天皇杯・皇后杯広島県予選が開催されました。

広島大学の結果は、以下のとおりです。

(男子)

1回戦 vs 西条農業高校

○2-0 (25-14、25-16)

2回戦 vs 瀬戸内高校 C

○2-0 (25-22、25-20)

3回戦 vs 崇徳高校 A

●0-2 (20-25、18-25)

(女子)

1回戦 vs 庄原排球部

○2-0 (25-20、25-8)

2回戦 vs 進徳女子高校 B

○2-0 (26-24、25-21)

準決勝 vs 広島国際大学

●0-2 (15-25、17-25)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hiro daiVOLLEY>

男子は3年生以下のチームで臨み、これまで出場機会が少なかった選手が数多くコートに立ちましたが、2年生の山下がエースとしてチームを引っ張り、1年生の松本や槇森もレシーブで存在感を見せるなど、収穫の多い大会となりました。特に、1年生セッターの丹羽は、序盤はドリブルの失点が続いたものの、試合中に修正し、二段トスと早い平行を使い分け、山下の良さを存分に引き出していたと思います。また、高橋と村上はサーブの精度が上がり、春リーグで見せた集中力の高さがチームの力になっていることを感じました。

崇徳高校戦では、保坂と水谷を中心にキャッチを返し続け、サーブで攻められることはなかったものの、相手のコンビ攻撃に対応できず、終盤の得点力の差がそのまま結果となりました。優勝した福山平成大学の試合を見ていると、ブロックで得点する意識が非常に高く、相手を張って一本一本勝負していましたが、広大の場合は待ち構えると言うより相手に合わせている印象で、完成前や降り際のブロックを利用され続けていたと思います。後ろには強力なレシーブ陣がいるものの、フロントで得点できる機会を逃し続けてはどうしても苦しい展開になりますので、ブロックの攻撃力を高められるように、個人としても組織としても技術を磨いて欲しいと思います。

女子も1回戦は3年生以下のチームで臨みましたが、相手が中学生ともあって力差で勝利しましたが、1セット目は20点まで競る展開になり、とにかく勝つことに必死だったと思います。広大も限られたメンバーだったとは言え、カテゴリーが2つ違うのであれば、相手にどのようなことを学んで欲しいか、大学生としてお手本を見せなければいけません。相手側から見る限り、広大から学べたのは4年生のモップ掛けのみでしたので、勝つこと以上の目的を設定しなかった3年生以下は意識の甘さを自覚しなければいけません。

2回戦の進徳女子高校戦は、スタートからサーブで主導権を握ると、相手のミスやスパイクアウトに助けられ、広大の小さなミスが帳消しになる展開が続きました。相手に勝てるかもしれない、気持ちが、この相手には絶対に勝ちたい、に変わり、勝たなければいけない、まで心が変遷したことと思いますが、最後までブレがなかったセッターの新宅、指示の声を出し守備範囲が広がったりベロの大嶋、スパイクとレシーブで下半身の力強さが備わってきたラッキーガール岩永が要所でチームを救い、1セット目は逃げ切って、2セット目は逆転でセットを奪う出来過ぎた内容となりました。7月に入り、チームとして上昇期に入ったと思いますので、全員乗り遅れることなく、勝負の夏で飛躍して欲しいと思います。

エースの有川は、2回戦からの出場が功を奏しましたが、24-22から連続ミスしているようではまだまだです。勝負を急いだ手打ちの外出しは、我慢できない心の弱さの表れです。ジャンプ力も復調し、体重が乗ったときには早々止まらない決定力を持っていますので、我慢強く続けることに自信を持って欲しいと思います。準決勝の広島国際大学戦では上体が起き、下半身がほとんど使えていませんでした。1年生の岩永は3試合フル出場でも状態を上げていきましたので、長く良い状態を保てる体を作らなければいけません。有川は引退がかかる最後の試合、最後のトスが上がってくると思いますので、その期待に応えられるよう、後悔のない夏を過ごして欲しいと思います。

今週木曜日からは、女子の西日本インカレが広島県で開催されます。

7月6日（木）広島県立総合体育館メインアリーナdコート第3試合（12時頃開始予定）

予選1回戦 vs 大阪体育大学

（敗れた場合：メインアリーナbコート第7試合）

予選2回戦 vs 関西大学と名古屋学院大学の試合の敗者

（広島県立総合体育館アクセス）

<https://h-jigyoudan.or.jp/sports-center/center-overview/#access>

強豪揃いですが、自分たちのバレーを展開し、1点でも多く取れるよう頑張ります。

引き続きよろしくお願いたします。